

## 青柳和身教授 略歴・著作目録

### 略 歴

- 1944年7月10日 静岡県に生まれる。
- 1971年3月 京都大学経済学部卒業
- 1974年4月 京都大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1976年3月 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 1976年4月 京都大学大学院経済学研究科博士課程入学
- 1979年3月 京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学
- 1979年4月 鹿児島経済大学経済学部専任講師
- 1984年4月 鹿児島経済大学経済学部助教授
- 1991年4月 鹿児島経済大学経済学部教授
- 1994年4月 九州国際大学経済学部教授
- 1995年7月 経済学博士（京都大学）取得
- 1998年4月 岐阜経済大学経済学部教授
- 2010年4月 岐阜経済大学経済学部再任教授
- 2013年3月 岐阜経済大学経済学部再任教授退職

#### 《担当科目》

西洋経済史，歴史学B

#### 《所属学会》

フェミニスト経済学会，経済理論学会，社会経済史学会，ジェンダー史学会，ロシア史研究会，基礎経済科学研究所

### 著作目録（抄録）

- 『ロシア農業発達史研究』（単著） 御茶の水書房 1994年2月
- 『フェミニズムと経済学（第2版）——ボーヴォワールの視点からの『資本論』再検討』（単著）  
御茶の水書房 2010年9月

「19世紀初頭ブツコエ領農民世帯の変動構造——個別世帯の階層移動の検討——」

『欧米資本主義の史的展開』（共著） 思文閣出版 1996年2月

「資本主義的蓄積とジェンダー」

『経済科学通信』第108号 2005年8月

「ヒックス経済史の理論的意義——市場史と人口史の交錯——(1)～(4)・完」

『岐阜経済大学論集』第40巻第2～3号，第41巻第1～2号，2007年2月～2008年2月

「資本主義的生産様式は性＝生殖的に中立か——二宮厚美『ジェンダー平等の経済学』の史的検討——(1)～(2)・完」

『岐阜経済大学論集』第42巻第1～2号，2008年9～12月

「資本主義と人口再生産様式——本源的蓄積論の再検討を中心に——」

『経済科学通信』第118号 2008年12月

「晩年エンゲルスの家族論はマルクスのジェンダー認識を継承しているか(1)～(3)・完——生産様式論争のジェンダー的総括——」

『岐阜経済大学論集』第43巻第1～3号，2009年9月～2010年3月

「「短い20世紀」の史的総括と21世紀の社会主義展望(1)～(4)・完」

『岐阜経済大学論集』第45巻第1・2～3号，第46巻第1～2号，2011年11月～2013年2月

#### 《学会発表》

「性差別的生殖強制なしに『永続的』剰余労働搾取制度は成立するか——『ジェンダー平等の経済学』と『フェミニズムと経済学』のジェンダー論争を中心に——」

経済理論学会第57回大会報告（東京大学） 2009年11月